

新庄市有機農業実施計画

1. 市区町村

新庄市

2. 計画対象期間

令和 5年度 ～ 令和 9年度

3. 対象市区町村における有機農業の現状と 5 年後に目指す目標

ア 有機農業の現状

本市は、山形県北部の新庄盆地のほぼ中央に位置する最上地域（1市4町3村）の中心市である。四方を山地に囲まれ、北東部には奥羽山脈（神室連峰）が連なるとともに、南西部には最上川が流れ、その支流となる升形川や泉田川の扇状地に市街地が広がっている。年平均気温は約 11℃で、冬季の降水（雪）量が多く、日本海側の冬型気候の特徴が顕著に見られる豪雪地帯である。

現在、モデル地域である昭和地区での有機農業への取組みとしては、有機農家数は2戸であり、栽培面積は12.1haとなっている。栽培品目としては、主食用米が主であり、その他大豆や野菜等を栽培している。

イ 5 年後に目指す目標

（1）有機農業者に取組む農業者の割合	R3： 3%	→	R9： 5%
（2）有機栽培のうち水稻の面積	R3： 10.0ha	→	R9： 12.0ha
（3）有機栽培のうち大豆の面積	R3： 1.0ha	→	R9： 5.0ha
（4）有機栽培のうち有機野菜の面積	R3： 0.4ha	→	R9： 2.4ha
（5）有機農産物の販売数量	R3： 33t	→	R9： 47t

4. 取組内容

ア 有機農業の生産段階の推進の取組

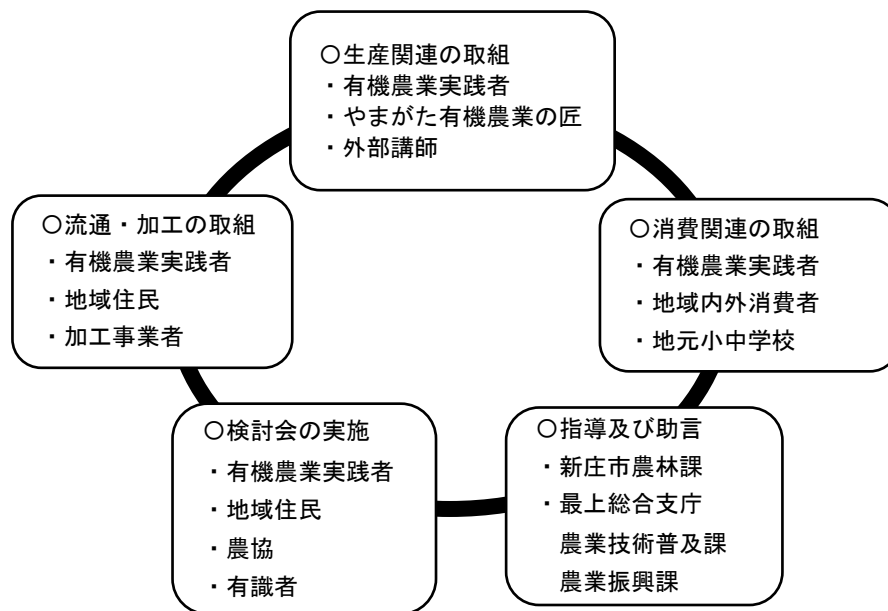
- 新たな栽培技術の実証、成果の普及
 - ・ 土壌緩衝能試験・土壌分析を利用した栽培技術の習得を図る。
- 新規有機農業者の育成や技術講習会の開催
 - ・ 新たに有機農業を始めたい方や興味を持っている方を対象に講習会等を開催する。

イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

- 地場での加工品の製造
 - ・ 地元加工業者と連携し有機素材の加工食品を試作し商品化を図る。
- 販路拡大へ向けた商談
 - ・ 有機農業者・加工業者が商談会へ参加し新たな販路の開拓を図る。
- 学校給食における有機農産物の活用の促進
 - ・ 生物多様性を学ぶ授業と連動し、有機米、有機野菜等の給食を実施することで有機農産物への理解を深める。
- 消費者との交流会の開催
 - ・ 生き物調査ワークショップにより有機農業の価値のPRを行う。
 - ・ シンポジウムや有機加工食品づくりのワークショップを開催し消費者の有機農業への理解を深める。

5. 取組の推進体制

ア 実施体制図



イ 関係者の役割

- ・新たな栽培技術の習得及び新規有機農業者の育成については、農業者、やまがた有機農業の匠が実践し、外部講師よりアドバイス等を頂く。
- ・地場での加工品の製造及び販路拡大については、有機農業者が地域住民と加工事業者と連携し商品開発・販路の拡大を図る。
- ・消費関連については、有機農業者が学校と連携し学校給食への有機農産物の活用を図ると共に、地域内外の消費者と交流会を通じて有機農業への理解を深める。
- ・市、県及び農協等については指導・助言等、取組の円滑な推進を図る。

6. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について

- ・山形県と共同で基本計画を策定し、事業の推進を図る。